

\* 「彗星(ウ氏)比較星観測 三」という観測野帳発見

この観測野帳は図書室からアーカイブ室に持ち込まれたものである。図書室に置かれているよりはアーカイブ室の収蔵品としての方が適当であろうとの配慮である。表紙には「彗星(ウ氏)比較星観測三」(写真1)とある。

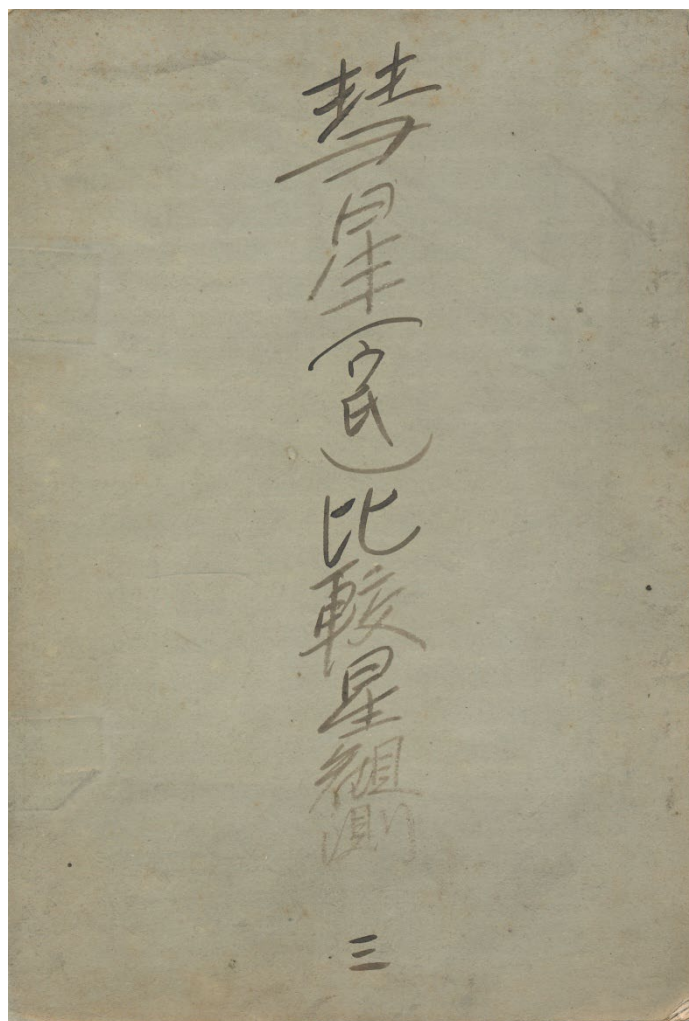


写真1 発見された観測野帳

中をめくってみると、最初のページにだけ日付が入っており(写真2)、1892年2月13日とある。1892年に発見された彗星にバーナード・ボアッティエ彗星(206P=D/1892 T1 = P/2008 T3)、ホームズ彗星などがあるが、ホームズ彗星の発見は1892年11月6日のことであるから、この彗星(ウ氏)はホームズ彗星ではない。筆者は彗星の専門家ではないので、このことについての追跡が進まない。この記事を読んだその道の専門家からの情報を待ちたい。この観測野帳は三と書かれているから、一、二もあったのであろう。

26 m. 36                      31 45

-> \*TRANSIT OBSERVATIONS.\* <-

18 92 Feb 13	18
Star, A	Star, B
$\delta$ , 236 26	$\delta$ , 60 48
Z. D.,	Z. D.,
Clamp,	Clamp,
26 35.86 284	31 45.00 238
48.87 55	32 9.44 1.00
27 1.83 66	33.88 1.18
16.42 75	33 1.19 90
30.46 196	27.50 308
43.37 28	57.76 44
56.23	34 16.48
T', 6 27 16.14	T', 33 0.75
D. A., .	D. A., .
Cc, .	Cc, .
Bb, .	Bb, .
Aa, .	Aa, .
T, .	T, .
$\alpha$ , 3 42 11.93	$\alpha$ , 3 47 54.99
$\Delta T$ , .	$\Delta T$ , .

写真2 日付の入ったページ

ページの一番上に「TRANSIT OBSERVATIONS」と印刷されている。ということはこの観測野帳は子午儀の観測に用いられるものと思われる。このページの最初の行は観測日、2行目は星の名前、3行目はギリシャ文字の $\delta$ と思われるが、それなら星の赤緯と考えるのが普通だが、書かれた数字は星の赤緯とは思えない数字が並んでいる。4行目のZ、DはZenith Distanceの略であろう。5行目のClampは、子午儀の東西反転の記録だろう。次の7行は接眼部のマイクロメーターの中心の経糸の両側3本を含む7本の蜘蛛糸をよぎる事項を記入する欄と思われる。1行置いてT'はTRANSITの時刻、D. A.、Cc、Bb、Aaはよく分からない。下から3行目のTは理論上の何中時刻であろうか、次の行の $\alpha$ は星の赤経、次の行の $\Delta T$ は観測された南中時刻と理論上の南中時刻差であろうか？子午儀で観測をしたことの

ない筆者にとってはこのように推論してみた。他のページの例を写真3、4に示しておく。

37 26      91 52

→\*\*TRANSIT+OBSERVATIONS.\*\*←

18			18		
Star, C			Star, D		
δ, 346 11			δ, 5 41		
Z. D.,			Z. D.,		
Clamp,			Clamp,		
37	25.69	980	41	51.80	890
	39.77	49	42	3.70	60
	50.24	69		15.92	94
38	3.90	51		29.45	91
	17.07	169		42.38	245
	29.34	24		59.26	35
	41.60		43	6.77	
T', 38 3.66			T', 42 29.10		
D. A.,			D. A.,		
Cc,			Cc,		
Bb,			Bb,		
Aa,			Aa,		
T,			T,		
α, 3 52 59.27			α, 57 24.42		
ΔT,			ΔT,		

写真3

45 0      51 3

→\*\*TRANSIT+OBSERVATIONS.\*\*←

18			18		
Star, E			Star, a		
δ, 47 25			δ, 352 53		
Z. D.,			Z. D.,		
Clamp,			Clamp,		
44	59.69	906	51	2.72	62
45	17.16	64		14.78	69
	34.76	98		26.66	72
	54.53	89		40.31	72
46	13.66	251		53.27	213
	30.90	36	52	5.12	20
	48.48			17.18	
T', 45 57.17			T', 51 40.01		
D. A.,			D. A.,		
Cc,			Cc,		
Bb,			Bb,		
Aa,			Aa,		
T,			T,		
α, 4 0 48.76			α, 6 35.57		
ΔT,			ΔT,		

写真4

今回、図書室から渡された類似の観測原簿のようなものが入った小さめの段ボール箱には他の野帳も入っているので調査が楽しみである。